



25. 10. 7 1600
統合幕僚監部

(お知らせ)

平成25年度日米共同統合防災訓練の実施について

自衛隊は、下記のとおり平成25年度日米共同統合防災訓練を実施します。

記

1 目的

南海トラフ巨大地震発生時における自衛隊の活動（主に指揮所活動）を演練した平成25年度自衛隊統合防災演習における成果について、実動における実効性を検証するとともに、自衛隊及び在日米軍等との連携要領の確立並びに震災対処能力の維持・向上を図るもの。

2 主要演練事項

- (1) 災害対処に係る関係部隊間の連携
- (2) 災害対処に係る在日米軍との共同連携
- (3) 災害対処に係る関係省庁及び自治体との連携

3 訓練概要等

- (1) 想定
高知県を南海トラフ巨大地震に伴う被災地と想定
- (2) 実施要領
陸上自衛隊中部方面隊が実施する「南海レスキュー」（演習統裁官：中部方面総監）に連携包含して実施
- (3) 訓練概要
 - ア 海上捜索・救難、患者搬送等訓練
 - (ア) 高知県沿岸部の陸上及び海上における捜索・救難、洋上の広域医療搬送拠点臨時医療施設とした護衛艦「いせ」への搬送
 - (イ) 護衛艦「いせ」での応急医療活動
 - (ウ) 応急医療活動を施した患者の搬送
 - イ 孤立地域への物資等輸送訓練
震災に伴い孤立した地域への救援物資等の輸送、先遣部隊（FAST-Force）の空輸

4 実施時期

平成25年10月25日（金）

5 統裁官（「南海レスキュー」演習統裁官を兼ねる。）

中部方面総監 陸将 堀口 英利

6 訓練統制官

統合幕僚監部運用部運用副部長 陸将補 岩谷 要

7 実施場所

中国・四国、九州地域及び同周辺海・空域

8 訓練参加部隊等

(1) 統合幕僚監部

人員約30名

(2) 陸上自衛隊

中部方面隊

人員約200名、航空機2機（UH-1）、車両約20両

(3) 海上自衛隊

自衛艦隊、呉地方隊等

人員約200名、航空機2機（SH-60J（K））、艦艇1隻（護衛艦「いせ」）

(4) 航空自衛隊

航空総隊

人員約100名、航空機5機（U-125A×1機、CH-47×3機、UH-60J×1機）

(5) 在日米軍

第3海兵機動展開部隊

人員約20名、航空機2機（MV-22）

9 その他

防災関係機関等の参加を調整中

※ 下線部については調整中であり変動する場合がある。